



第56号2017年 町田

**俊風会  
NEWS**

**日本維新の会  
伊藤しゅんすけ  
Shunsuke Ito**

〒194-0021  
町田市中町 2-6-11 サワダビル3F  
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935

HP <http://www.i-shunsuke.com>  
Mail [officeshunsuke2012@gmail.com](mailto:officeshunsuke2012@gmail.com)  
Twitter [http://twitter.com/shunsuke\\_ishin](http://twitter.com/shunsuke_ishin)  
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>

## 自民党に代わる健全な政党が今こそ必要！



政治家の資質低下が目に見えます。安倍総理の森友問題や加計問題で安倍総理の責任は勿論、「記録も記憶もない」と強引に隠し通す官僚組織、稲田前大臣の日報隠ぺい問題、豊田議員はパワハラ問題、次々と辞任した務台政務官、今村前復興大臣、今井・橋本議員の不倫疑惑など政治家の不祥事が後を絶たない。「誤魔化し」や「嘘」、「記録」も「記憶」もないような組織や政党、政治家に、この国を任せるわけにはいきません。自民党に代わる健全な政治勢力が今こそ必要です。



## 維新所属議員27名の議員歳費2割を被災地へ寄付

維新所属の国会議員全27名が歳費2割を削減し、毎月被災地に寄附させて頂いております。維新は橋下徹さんが歳費42%カットし退職金ゼロにして、現在の大阪府知事や市長に受け継がれています。これまでこれ程身を切る改革を実際にしたリーダーが私たちの国にいたでしょうか。また維新は他党に先がけて企業団体献金の禁止を実行し繰り返される「政治とお金」の問題体質改善に取り組んでいます。国会議員の第2の財布といわれる文書通信交通費(文通費)年間1200万円(領収書なし、報告義務なし、税金かからない)もHPにて使途公開と領収書添付を義務付けているのは維新だけです。私も議員歳費3割削減をお約束させて頂いております。選挙で訴えても自ら実現しようとする議員や政党ばかりです。維新は税金を無駄遣いしない姿勢を貫きます。

## 議員特権の「地方議会議員年金」の復活に反対

昨年7月に全国都道府県議会議長会において、平成23年に廃止された地方議会議員年金に代わる「新たな地方議会議員の年金」として税金を投入する公的年金制度への加入を求める決議がされました。すでに地方議会の半数以上にもものぼる900議会で意見書が採択されています。平成の大合併により掛け金を払う現役議員の激減に伴い、平成23年に制度廃止となってから現在、そして今後約50年にわたり廃止前に受給資格のある(元)議員へ税金を投入し、支給されています。議員年金は、国民年金と比べても高い還元率になり、地方議員は兼業も認められています。「自民」「公明」「民進」などの賛成で水面下に進んでいる議員特権の象徴である議員年金復活を「日本維新の会」は反対し阻止します。

## 受動喫煙防止法案の早期成立を

日本の受動喫煙防止対策は、先進国のなかで遅れています。これからラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなどを通じて世界が日本に注目する中で、国際的な基準に基づく制度を早急に導入するべきです。未成年の子供たちや妊産婦、がん患者を含む様々な病気の患者、また家庭内や職場などで非喫煙者が本人の望まない形でたばこの煙にさらされる状態も早急に終わらせるべきです。

# 日本は原発に依存せず、新しい時代へ

ドイツの首相がいち早く脱原発を決断し、台湾や韓国も脱原発宣言をし、日本は6月6日に高浜原発3号機が再稼働で5基目となり、大飯原発3・4号機も再稼働目前です。福島原発事故から6年。除染、賠償、廃炉などに21兆円超、1基廃炉に40年、原発は安全でも安価でもなく、最終処分地がありません。最終的にまた消費者(国民)が負担することになります。脱原発に舵を切ったドイツの再生可能エネルギー29%に対し、日本は僅かに7.3%です。私は原発再稼働に一貫して反対をしてきました。日本もドイツ並みに再生可能エネルギーの比率を上げれば、原発に依存せずにやれるはず。再生可能エネルギー(新しい産業)で世界をリードする日本の未来のため人生を賭けて戦います。

その他

- 年金＝人口が増え続ける時代に創られた年金制度(賦課方式)は少子高齢化時代に対応出来ず、1日も早く積立方式に。いま20代は、将来、納付額より受給額が約マイナス2400万円になる。2055年には人口9000万人台に減少し、高齢化率40%(2.5人に1人が65歳以上)
- 憲法改正＝教育無償化や統治機構改革(道州制)、憲法裁判所設置を柱に憲法改正に賛成。大学進学率を年収別に比較すれば、年収200万以下で28%、400万で43%、600で49%、800万で54%、1000万以上で62%、大阪は、すでに私学高校の無償化、5歳児も4歳児も無償化を実現。どんな家庭環境で育っても平等に教育が受けられる環境を創ります。
- 安保法制＝自衛隊の歯止めなき海外派兵には反対。北朝鮮の脅威など現実的な対応を想定。

俊輔の地元政策

## ・43万人の健康と命を守る、町田市に救命救急(大学)病院を。

町田市には救命救急(大学)病院が1つもありません。脳や心臓など処置が出来ない場合は、北里病院や聖マリアンナ病院に搬送される初動3、40分が命取りです。八王子市は大学病院が2つ、相模原市は北里病院、14万人の多摩市には日医大病院が黒字で経営しています。

- ・鶴川駅南側駅前広場の実現と鶴川駅を橋上化で渋滞解消し、急行駅に
- ・多摩センター駅ー野津田競技場ー鶴川駅ーTBSーこどもの国の南北を結ぶモレール新構想の実現
- ・小田急線の小山田・相模原駅への乗り入れ早期実現へ
- ・相原の横浜線と町田街道のアンダーパス早期実現
- ・北部丘陵(小野路・小山田)を首都圏一魅力ある国立公園に

- ・1979年8月5日 町田生まれ、町田育ち
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

## 伊藤俊輔プロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点(あと635票)  
第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。  
再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL: